平成２７年５月１３日

ひろしま先進ものづくり研究会会員各位

ひろしま先進ものづくり研究会事務局
〒721-0974　福山市東深津町三丁目 2-39
広島県立総合技術研究所東部工業技術センター内

基盤技術研修の開催について（ご案内）

平素から，当研究会の活動につきまして格別の御協力をいただき，厚く御礼申し上げます。

この度，研究会では，若手・中堅技術者及び次代の経営者の人材育成等，地場産業を取り巻く社会状況を考慮しつつ，先日ご協力頂きました基盤技術研修に関するアンケート結果も踏まえ，「品質に係る技術研修（情報交換会）」を次のとおり開催することといたしました。

会員の皆様には時節柄，御多用とは存じますが，研修の趣旨にご賛同いただき，奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

日時　平成２７年６月３日（水）　１３：３０～１５：３０

場所　広島県立総合技術研究所東部工業技術センター　２階講堂
（福山市東深津町三丁目 2－39）

題目　『品質と品質工学（第１回）』

話題提供　福山大学工学部 機械システム工学科 教授　内田　博志 氏

内容概要　従来，工程内で発生した不良品を市場に出さないための方法論として，「品質管理」が発達してきましたが，今日のものづくりでは，そもそも不良を出さないための製品設計や工程設計が必要であることはもちろんのこと，さらにユーザー視点の品質思想を持ち，「いつもお客様に満足してもらえる機能・性能を維持できる」製品設計が望まれます。また，製造者責任の観点からは，予想を超える負荷が加わったり，想定外の条件で使用した場合でも，所期の機能・性能を可能な限り維持できる，ロバストな設計アプローチが求められます。異常判定や危険予知のためのセンシングの領域でも，想定外の異常状態や危険状態も見落さない，本質的に安心・安全なデータ評価方法が要求されます。

本研修ではこれらの観点から，品質工学を応用した品質・機能両立設計，ロバスト最適設計，安全設計，異常・故障診断などの方法論について考えていきたいと思います。

今回は，品質工学の基礎論と，品質工学に基づくパラメータ設計を Excel を用いて行うための具体論を紹介した後，この分野に関連して各企業の皆様が抱えている課題を可能な範囲でご紹介いただき，意見交換したいと思います。

参加費　無料

ひろしま先進ものづくり研究会基盤技術研修 参加申込書

送付先：ひろしま先進ものづくり研究会事務局　松田・古山宛
（広島県立総合技術研究所東部工業技術センター内）
電話：084-931-2402
ＦＡＸ ：０８４−９３１−０４０９

出席者のご所属，役職及びお名前を記入し，**６月１日（月）までに**，ＦＡＸにてお申込みください。

所　　属	役　　職	名　前

※ この申込書に記載された個人情報は，主催者で適切に管理し，研究会の管理運営のほか，セミナー，交流会等，各種ご案内等に利用させていただきますのであらかじめご了承ください。なお，当該情報は個人情報保護法に従って適切に取り扱い，法令に定める場合を除き第三者に提供することはありません。